



2019年7月2日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード8739 東証第一部)

**量子アニーリング技術で世界を最適化する株式会社シグマアイ、
D-Wave Systems Inc.と量子アニーリングマシン D-Wave 2000Q の大型利用契約を締結**

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）が出資する株式会社シグマアイ（代表取締役 CEO：大関真之。以下、シグマアイと表記）は、D-Wave Systems Inc.（カナダ。CEO Vern Brownell。以下、D-Wave 社）との間で、量子アニーリングマシン D-Wave 2000Q の大型利用契約を、日本で初めて締結いたしましたことをご知らせいたします（*1）。

シグマアイでは、本契約に基づき、日本における量子コンピューティング技術の発展に資するため、企業の皆様を始め、大学、研究機関等での活用を推進してまいります。

また、D-Wave 社との連携により、利用環境の構築や開発手法の提供、共同研究開発の活性化によって、量子コンピューティング技術の産業利用を推進してまいります。

（*1）

量子コンピューティング技術の1つ「量子アニーリング」は、組合せ最適化問題と呼ばれる難解なパズルを解くための方法であり、その原理は日本人の2人の研究者、西森秀稔氏（東京工業大学・教授）、門脇正史氏（株式会社デンソー）の研究成果によるものです。その後、その技術はカナダの D-Wave 社のメンバーによって製品化され、2011年に世界初の商用量子コンピュータとして販売されるようになりました。海外では Lockheed Martin 社を皮切りに、Google、NASA、大学宇宙研究協会（USRA）による量子人工知能研究所（QuAIL）、Los Alamos 国立研究所、Oak Ridge 国立研究所を始め、既に多くの研究機関と民間企業が購入、設置、大型利用をしています。

■ 投資先企業の概要

シグマアイ社は、東北大学量子アニーリング研究開発センターの大関真之、伊勢賢太郎、観山正道が、スパークスの全面バックアップのもとに設立された「アカデミックテックカンパニー」であり、大学や研究機関で開発された新技術を、見える形で世に送り出すことをミッションにしています。

今回の D-Wave 社（*2）との契約が、日本における量子コンピューティング技術の発展の礎として、世の中の仕組みを変えていくのかを、日々の研究開発の様子を交え、見える形でその成果を発信しながら、世に送り出していきます。

（*2）

D-Wave 社は、1999年に設立された量子コンピューティング・システムおよびそのソフトウェアを開発する、業界を牽引するリーダー的存在の企業であり、世界で初めて量子コンピューティング技術を搭載した量子アニーリングマシンを販売した会社です。

D-Wave 社の量子アニーリングマシンの導入は、日本では 2016 年から行われており、小時間に限られたクラウド



接続利用が中心でした。

- 本件に関するお問い合わせ先
スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com

株式会社シグマアイ 担当: 伊勢
info@sigmailab.com